

本紙は、毎月テーマに沿った本やDVDを選んで、あすてらすや編集委員の読后感などを紹介しています。今回は「あすてらすフェスティバル2020」で講演される予定だった、水無田気流（みなしたきりう）さんの著書をお届けします。フェスティバルは延期となりましたが、書籍で楽しみませんか。

「居場所」のない男、「時間」がない女 (2015/6)

〔分類番号：女性問題 367.3〕

水無田気流 著

日本経済新聞出版社

地域や家庭での孤立、生涯未婚や孤独死の増加等々、現代の問題を読み解く鍵は、男女の間に横たわる「時空の溝」にあるという。タイトル通りに分断された男女の生活が具体的に検証・分析され、当たり前と思われていたことが実は幻想だったことにも気づかされる。誰もが幸せに生きていくための示唆に富んだ一冊。

(まゆ)



母と娘はなぜこじれるのか (2014/2)

〔分類番号：女性問題 367.3〕

斎藤環×田房永子,角田光代,萩尾望都,

信田さよ子,水無田気流

NHK 出版



本書は、精神科医である斎藤環氏が診療現場で関わった「母娘」の特別な関係について、様々な分野で活躍している5人の女性と交わ

した個別対談集。「漫画家」「作家」「臨床心理士」「研究者」の立場を通して、そこに自身の「母娘関係」の体験を絡め、時に深く踏み込み、問題の本質を捉え、解決を考える内容となっている。

「母娘関係の特殊性」と「父権」、「家族」、「社会」と「日本の近代化」等の関係性にまで話が広がり、内容は重いですが、考えさせられる一冊。 (ずらだ)

シングルマザーの貧困 (2014/11)

〔分類番号：女性問題 367.3〕

水無田気流 著

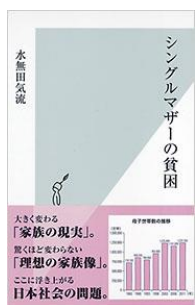
光文社

シングルマザーが家庭と家計の責任を一人で背負い、時間に追われながら子育てをする姿は切ないが、その理由も多様であることを、事例と分析に見ることができる。

現実の家族の在り方は大きく変わっているのに、「標準家族」の例外、所属なき者とされ、ことに日本では未来を担う子供を育てる大切さも忘れたように、自分で選択した立場へのまなざしは厳しい。

シングルマザー世帯へ社会が向けるまなざしを「想像力の貧困」と問題視する著者。彼女らの現実を知ることのできる、多くの人に読んでもらいたい一冊。

(白くま)



情報ライブラリー利用案内

■利用時間 9:00~19:00

※日曜日は図書整理のため18:00まで

■休館日 月曜日,祝日,年末年始,図書整理日(月末)

■貸出数 図書5冊(2週間)

ビデオ・DVD1本(1週間)

郵送での貸出、返却も行っています

★ パッケージ貸出のご案内 ★

利用目的に合わせて図書やDVDをまとめて貸し出すサービスを行っています。(~30冊程度)

■利用者登録(団体)が必要

■貸出期間は1ヶ月



男女共同参画の啓発・学習などの際にご活用ください!





新着図書



◆HPでも新着やテーマ別の図書・DVD等を紹介しています◆

タイトル	内容
売上を、減らそう。 中村朱美/著 ライツ社 (2019.6)	多様な事情を抱えた従業員の「働きやすさ」実現のために「売上を減らす」という驚きの経営理念。それは、これからの時代の生き方や働き方を考えさせる。世の中の常識にとらわれず、常に前向きにチャレンジする姿は素晴らしい。
それはあなたが望んだことですか フェミニストカウンセリングの贈りもの 河野貴代美/編著 三一書房 (2020.1)	全国のフェミニストカウンセリングでの相談事例をひとつひとつについていねいに考察。現代女性が抱える問題は驚くほど多様化している。自分の未来は自分で決めることであり、「あなたはあなたであってよい」という著者のメッセージは、すべての女性の心を軽くしてくれるはず。
そしていま、一人になった 吉行和子 著 ホーム社 (2019.4)	作家の父、NHK朝ドラの主人公のモデルとなった母、そして兄妹。皆を送り、一人になった著者がいま明かす、家族への想い。「なくなって悲しむものは持たない」と、ちょっと痩せ我慢しながらも言い切る著者のその姿勢が、前を向く力をくれる。
男らしさの終焉 グレイソン・ペリー 著 小磯洋光 訳 フィルムアート社 (2019.12)	本書は、男らしさについて考察し、それがいかに現代にふさわしくないかをユーモラスかつ厳しく批判する。著者自身の幼少期の経験からの気づきが、新しい時代での変化のキッカケとなるように。「男」に悩む全ての人に贈る一冊。
これでもいいのだ ジェーン・スー 著 中央公論新社 (2020.1)	自称“未婚のプロ”であるアラフィフ著者が綴る、クスッと笑えるエッセイ集。「若者よ、加齢っていいぞ。」と言えるところまで達した著者の言葉に共感、そして安堵。思っていた未来となんか違う…。そんな戸惑いや不安を感じたことがある人は、是非読んでほしい。
リボンの男 山崎ナオコーラ 著 河出書房新社 (2019.12)	専業主夫にやりがいを感じつつも、無収入の自分は「ヒモ」ではないかと引け目に思う妹子。3歳の息子と過ごす穏やかな日常の中で思い至った妹子の葛藤と発見を通して、性別にとらわれない新しい家族の在り方が見えてくる。
上野先生、フェミニズムについて ゼロから教えてください！ 上野千鶴子 田房永子 著 大和書房 (2020.1)	団塊世代の上野氏と団塊世代ジュニアの田房氏が、母娘問題、セクハラ、結婚・恋愛・子育てなどについて、フェミニズムの歴史とともに語り合った対談集。女性はなぜ生きづらいのか、日本の何が問題なのか、パワフルに伝わってくる。
マスコミ・セクハラ白書 WIMN (メディアで働く女性ネットワーク)編著 文藝春秋 (2020.2)	2018年に起きた財務省幹部によるテレビ局記者へのセクハラ事件。男社会であるマスコミを土壌にしたパワハラやセクハラは日常だった！そんな業界を変えるため、W i M Nが立ち上がった。本書は、彼女たちの苦難の記録と訴えである。

あすてらす 映画上映会 再開!!

ウイルス感染防止対策を実施したうえで8月より映画上映会を再開します。入場無料ですが、今回は事前に申込が必要になります。

8月22日(土) 14:00~

「種まく旅人 ~夢のつぎ木~」

(佐々部清/2016年 日本)



(日時・内容は都合により変更になる場合があります。) (C) 2016「種まく旅人」製作委員会

映画上映会では、女性の生き方、家族とのかかわり方など、女性に関わる問題をテーマとする映画をお楽しみいただけます。

期間限定!

あすてらすの本を
送料無料で貸し出します!

コロナウイルスの影響で外出を控えている方、遠方にお住まいであすてらすに来館できない方、この機会にぜひ、ご利用ください。

★★ 編集後記 ★★

■お問い合わせ先■

島根県立男女共同参画センター「あすてらす」情報ライブラリー
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 236-4
Tel 0854-84-5557 Fax 0854-84-5589
ホームページ <http://www.asuterasu-shimane.or.jp>

この所、コロナで自粛の毎日。家で本を読んで過ごすのもいいですが、やはり、運動不足になりがち。外で思いっきり走ってみたいくなる衝動にかられます。早くコロナが終息することを願うばかりです。(はっしー)